

西江通信

CONTENTS

- 1-2 現場だより「西4条橋外補修工事」
- 3 特集「流域治水」
- 4 Eco Action
- 5 受賞 Report・PLUS NEWS

冬号

R5.12.28
— 第18号 —



紙面を通じて西江建設とあなたを繋ぐ広報誌。西江の仕事・想い・働く私たちの情報をお届けします



熊牛御影線十勝橋架換工事（補正）（明許）外において、安全パトロール中に撮影した1枚。夕焼け空にクレーンが力強くそびえる（撮影：経理課 吉川）



現場職員



さわの ひろき
澤野 宏貴
(現場代理人)



さいとう ゆうき
齊藤 雄基

- ☑ 施工場所：帯広市
- ☑ 施工期間：令和5年7月27日～
令和6年3月5日
- ☑ 発注者：帯広市
- ☑ 請負者：西江建設株式会社
- ☑ 請負金額：71,610,000円
- ☑ 進捗率：99.3% (12月末時点)



北1線橋 施工後の空撮写真

工事概要

本工事は、帯広市橋梁長寿命化修繕計画の一環として行う橋梁補修工事です。帯広市橋梁長寿命化修繕計画とは、「従来の事後保全的な修繕や架け替え」から「予防保全的な修繕及び計画的な架け替え」に転換することで、計画的・効率的に橋梁を保全するための計画です。(平成25年3月策定、令和4年11月改訂)

本工事では、西4条橋、西3号橋、北1線橋の3つの橋梁において、コンクリートのひび割れ補修・断面修復と橋梁施設の補修・取替えを行い、橋梁の長寿命化とライフサイクルコスト(建設から維持・運用、その後の修繕、最後に取り壊すまでの全ての費用の合計)の縮減、道路網の安全性向上に寄与します。

補修と似た言葉に「補強」があります。「補修」は、劣化前の性能に回復すること。「補強」は、劣化前よりも性能を向上させること。このうち、本工事は「補修」工事にあたります。補修工事で注意することは、劣化原因の特定と対策の選定です。ここで誤った判断をしてしまうと、補修後に再劣化が生じ補修前よりも事態が悪化することがあります。これを防止するため、現場では劣化原因・補修目的・対策工法について、施工前に関係者全員に周知し作業しています。

施工中に想定外の事態が発生したときは発注者や設計者と協議し、劣化原因・補修目的を明確にした上で対策工法を提案するよう努めました。

また、西4条橋と西3号橋は市街地にあり周囲を住宅街に囲まれているため、騒音・振動作業には特に配慮し、北1線橋は工業団地通りに位置しており交通量が多いため、一般車との接触事故に注意を払いながら施工しました。

- ※西4条橋：西4条南2丁目、帯広川に架かる橋(竣工後40年経過)
- ※西3号橋：西8条北4丁目、伏古別川に架かる橋(竣工後44年経過)
- ※北1線橋：西21条北2丁目、新帯広川に架かる橋(竣工後33年経過)



◀西4条橋 鉄筋探索

ドリルで孔を開けて排水施設をアンカー固定する際、既存の鉄筋を損傷させないために行います。排水施設は、上部工からの漏水や凍害劣化による下部工の損傷が進むのを抑制する役割があります。



◀西4条橋 伸縮装置の取替え

橋は温度変化などによって伸び縮みします。橋の伸縮を吸収し、そこを安全に通行するために設けられたものが伸縮装置です。西4条橋では、伸縮装置の経年劣化により漏水が発生し、これにより下部工が損傷しているため、新しい伸縮装置に取替えます。



◀西3号橋 橋面防水

床版コンクリート内に雨水や塩化物イオンが浸入すると床版鉄筋や床版そのものの劣化が著しく進行します。これを防止するためアスファルト舗装と床版の間に防水層を設けます。



◀北1線橋 断面修復

コンクリートの剥離・剥落箇所をポリマーセメントモルタルで修復します。劣化部分を完全に除去すること、フェザーエッジ(削った角部分が緩やかなスロープ状であること。断面修復材の塗布量が薄くなりひび割れ等が発生しやすくなる)対策を行うことで再劣化を防止します。

01 今回の現場において 気を配って取り組んだこと

施工箇所である西4条橋と西3号橋は、住宅街のすぐ近くにあります。そのため、工事開始前に「工事のお知らせ」というお便りを近隣住宅に手渡しで配り、住民の方への丁寧な説明を心がけました。

現場に配属されている会社イチの美男子・齊藤くん（入社1年目）が、住民の方とコミュニケーションを取るのがすごく上手だということに気が付き、途中からは彼に一任しました（笑）齊藤くんは、持ち前のコミュニケーション能力を思う存分発揮し、大活躍してくれました。

住民の方の中には、見慣れない重機や工事の音を不安に感じてしまう方もいるかもしれません。こういったお便りを配布したり、私たち現場職員が直接コミュニケーションを図ることで、不安解消に役立ったと感じています。

02 今回の現場において 一番やりがいを感じるの はどんな時ですか？

達成感を感じることは、やはり「苦情、事故無く工事を終えられたこと」です。

今回の現場は市街地で施工するうえ、交通量が多く交通規制が必要な工事なので、常に緊張感を持って取り組みました。着工前から「苦情ゼロ・事故ゼロ」を目標にしていたので、無事に完成できて安堵しています。



西4条橋
橋梁の長寿命化・ライフサイクルコストについて歯医者さんを例に「今は虫歯の治療中です」と説明しています。（現場見学に参加した帯広翔陽中の生徒たち）



西3号橋
交通規制のなか、歩行者通路を確保しました。「通ってくれてありがとう」という子どもたちの声に胸が熱くなりました。



西3号橋
ハンドブレイカーを使って既設のコンクリートを壊す作業では大きな音が発生します。防音ゲート（写真内右）の中で作業することで騒音を低減しています。



防音ゲートの効果を確認するため騒音計で規制値の85dBを下回っていることを確認します。



北1線橋
交通量が多い道路での交通規制。安全対策をしっかり行いました

03 澤野さんの目指す技術者像に ついて教えてください

ややこしいのですが、目指す技術者像は「反省する技術者・後悔しない技術者」です。

何事においても、失敗はつきものだと思います。「自分なりにたくさん考えてやった結果、失敗した場合」は、たくさん反省すれば良いと思います。でも“よく考えずにやった結果の失敗”は、きっと後悔するだろうと思います。これからも、たくさん反省しながら、たくさん考えて学び続ける技術者でありたいです。

04 お休みの日や仕事が終わった あとはどう過ごしますか？

家事と育児です。自宅の駐車場で息子とボール遊びをしたり、家庭菜園で育てた野菜を収穫などして過ごしています。自家製野菜は同僚からも美味しいと評判です。

05 建設業について知ってほしいこと

どの町にも、誰もが当たり前前に利用している橋があります。その橋を、日常点検をしている誰かがいます。5年に1回の定期点検をしている誰かがいます。その結果を受けて、補修工事をしようとする誰かがいます。そして補修工事を行う誰かがいるから、いつも利用している橋は、これからもそこにあります。

そんな「当たり前を作る」のが、建設業という仕事であり、やりがいや魅力なんだと思います。

現場代理人



■ 氏名
澤野 宏貴
-SAWANO HIROKI-

■ 入社年
平成16年

■ 所属
工事部工事課 工事長

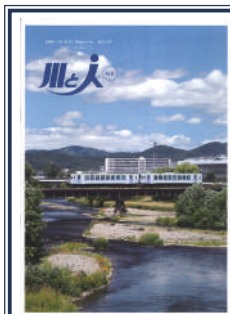
■ 出身校
北見工業大学
土木開発工学科

■ 趣味
ゲッター、釣り、ゴルフ、
家庭菜園、読書（伊坂幸太郎）



特集「流域治水」

北海道開発局 建設部 河川計画課「北海道における特定都市河川の実施について」より



一般財団法人 石狩川振興財団『川と人』 vol.47
令和 5 年 8 月発行、p.3-4・p.7 より抜粋



石狩川振興財団
ホームページ



『川と人』
vol.47 web 版

「流域治水」の推進

近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化しています。北海道でも平成 28 年 8 月に 1 か月で 3 つの台風が上陸、1 つの台風が接近し道内に大きな被害をもたらしたことをはじめ、平成 30 年や令和に入ってから局所的な豪雨による被害が頻発化しています。

このことを踏まえ令和 2 年 7 月には社会資本整備審議会の答申「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について～あらゆる関係者が流域全体で持続可能な「流域治水」への転換～」において、これまでの「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに一歩進めて、社会のあらゆる関係者が、意識・行動に防災・減災を意識することが当たり前となる、防災・減災が主流となる社会の形成を目指し、流域の全員が協働して流域全体で行う持続可能な治水対策「流域治水」への転換が示されました。

流域治水とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。取組の方針としては、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策②被害対象を減少させるための対策③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策について、ハード・ソフト一体で多層的に進めるものです。

北海道は、国内でも気候変動の影響を受けやすい地域であり、地域区分毎の降雨量が 2℃上昇時に 1.15 倍に増大すると予想されるなど、災害リスクの増加が懸念されており、気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、河川整備基本方針及び河川整備計画の変更を進めるとともに、これまでの河川管理者等による対策だけでなく、流域に関わる国、北海道、



市町村、企業、住民等のあらゆる関係者が流域全体で取り組む「流域治水」を推進しています。また、効果的に推進するにあたり、河川行政や都市行政と併せ農業行政等の様々な方策との連携を強化し、地域の課題に応じていく必要があるため、令和 5 年 1 月に「北海道開発局流域治水推進室」を設置し、地域の課題に対して横断的に対応・解決し、流域治水をより一層推進する体制を構築しています。

『川と人』 vol.47 p.3-4

おわりに

近年の治水事業を取り巻く情勢は、全国的な懸案である大雨災害の激甚化・頻発化や気候変動を踏まえ、河川整備基本方針や河川整備計画の変更に取り組むと共に、洪水調節施設の整備や事前放流の実施など治水機能の強化を図っています。また、世界情勢の変化から、食糧供給基地としての北海道の役割がますます大きくなっています。そのため、河川の掘削土を利用した農地のかさ上げにより、治水面からの強靱化と生産性の向上を図る北海道開発局ならではの取組を各地で進めています。

一方、それらのハード対策だけでは限界があり、特定都市河川の指定をはじめ、関係機関、自治体、企業、団体等と一帯となって、防災、減災対策をすすめるべく、流域治水協議会の場等を通じて、流域治水の取り組みを進めています。今後もこの取組の拡大により、治水対策を推進するものです。

『川と人』 vol.47 p.7

Eco Action

いい川！いい川づくりワークショップ

令和5年9月30日（土）～10月1日（日）に第15回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップin東北が東北大学で開催され、当社が令和3年度から実施している、河川工事で発生した伐採木をおびひろ動物園に提供している取り組みがグランプリを受賞しました。

このワークショップは、「いい川とは何だろう」という問いかけに対し、自由に柔軟にその答えを探っていくための公開選考会という方式で実施するワークショップで、今回は全国から31団体が応募していました。当社は帯広開発建設部 帯広河川事務所と合同で参加し、西江常務取締役と工事部工事課 佐藤主任が出席しました。

伐採木をおびひろ動物園に提供する取り組みについて発表し、選考の結果、「川での取り組みと動物園が繋がる意外性やSDGs的な考え方を求められる中で多くの目的をまとめて達成できる合理性、官民の連携と継続するための協定」などが評価され、見事グランプリとして「十勝川は動物も喜ぶ連携モデルで賞」を受賞しました。

弊社は、今後もこの取り組みを継続するだけでなく地域や持続可能な社会のために何ができるかを考えながら、地域に役立つ取り組みを行ってまいります。



発表時の様子。熱意のこもったスライド資料で取り組みをPRした



各団体の取り組みが展示されている。貼り付けられたふせんは投票数を表している



グランプリ受賞に沸く参加者たち



グランプリの盾（右）と副賞（左）を頂いた

これまでの取り組み

当社では、令和3年9月からこの取り組みを始め、これまでに10回ヤナギの提供を行っています。

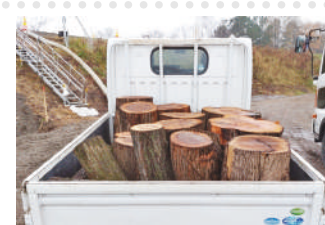
令和5年2月には「かわたびほっかいどう大賞」にも選ばれ、各方面から高く評価を頂いている取り組みとなりました。

令和4年6月には、動物園を訪れていた園児たちに餌やり体験の場を設けて交流しました。園児たちはエゾシカが新鮮なヤナギの葉を食べる様子を興味津々に見つめていました。

動物だけでなく、子供たちにも喜ばれる取り組みとなりました。

令和4年7月には、当社のような取り組みをさらに拡大し継続していくために、帯広開発建設部 帯広河川事務所とおびひろ動物園が「河川工事等に伴い発生する枝葉の有効活用に関する協定」を締結しました。

提供したヤナギの枝葉は、エゾシカやポニー、アメリカビーバーなど草食動物たちの好物であり、園内の動物たちの飼料やおもちゃとして役立てられます。また、今年11月には来年度に新築されるキリンの家用に丸太なども提供しました。



取り組みの様子は、当社のInstagramと西江通信に掲載中！ぜひチェックしてください！



Vol.10、Vol.13、Vol.14、Vol.15に掲載！

受賞 Report

農業農村整備事業優秀業者表彰

令和5年11月17日(金)、令和5年度 農業農村整備事業優秀業者感謝状贈呈式が執り行われました。

北海道が発注し令和4年度に完成した農業農村整備事業の工事において、優秀な技術と豊かな経験により優れた成果を挙げ北海道農業の振興に寄与したとして、北海道農政部 農村振興局 高崎 悟局長より知事感謝状を頂きました。



建設部優秀業者表彰

令和5年12月13日(水)、令和5年度 帯広建設管理部優良企業表彰式ならびに優秀現場代理人等表彰式が執り行われました。

帯広建設管理部が発注した工事の施工にあたり、豊富な経験と卓越した技術をもって特に優れた成果を収め道の建設事業の推進に寄与したとして、十勝総合振興局 剣持浩高副局長より知事感謝状をいただきました。

優秀現場代理人表彰式では、中島陽工事長が現場代理人を務め、令和4年度に完成した「川西芽室音更線中島橋架換工事(旧橋解体)(補正・繰越)外」において、豊富な知識と技術をもって誠実に職務を遂行し工事を完成させたことが評価され、十勝総合振興局剣持浩高副局長より感謝状をいただきました。



PLUS NEWS

奨学金返済支援制度の改定

当社では、令和2年に「奨学金返済支援制度」を制定しました。この制度は、当社に入社した社員が在学中に奨学金を利用していた場合、10年間にわたりその返済額を給与に上乗せし返済をサポートするものです。令和2年の制定時には技術職員のみが対象でしたが、令和5年11月からは新たに事務職員も対象となりました。「奨学金、ちゃんと返済していけるかな…」という不安を抱える新入社員の皆さんが安心して働けるよう、会社が全力でサポートいたします!

イルミネーション点灯

西18条北1丁目にある当社の帯広工事事務所では、今年で18年目となるイルミネーションを点灯しています。

高さ8mのツリーは金色のラインと頂点の星で華やかに、並木は青と白で統一し、事務所は雪の結晶のモチーフなどで幻想的な雰囲気。入口では仲の良いスノーマンの親子がお出迎えします。さらに今年は並木の間にウサギとキツネのモチーフが仲間入りし、昨年より賑やかな仕上がりとなりました。

3月中旬頃までお楽しみいただけますので、北バイパス・国道38号線を通る際はお見逃しなく!



- 1月5日(金) 仕事始め
- 2月12日(月) 「建国記念日」振替休日のため休業
- 2月23日(金) 「天皇誕生日」のため休業
- 3月20日(水) 「春分の日」のため休業
- 3月29日(金) 西江通信「春号」発行予定

西江建設株式会社 〒080-0034 帯広市西4条北2丁目20番地 TEL:0155-25-9105 MAIL:info@nishie-co.jp